

# 2018年3月期 決算説明会



**スズキ株式会社**  
2018.5.10

## 通期実績

### ● 連結業績 … 増収増益、売上高・各利益過去最高※1

売上高	3兆7,572億円、前期比+18.5%	2期振り増収
営業利益	3,742億円、前期比+40.3%	
経常利益	3,828億円、前期比+33.5%	3期連続増益
当期純利益※2	2,157億円、前期比+34.9%	

- ・ 増収 … インド、欧州、日本での四輪車、二輪車の販売増加等
- ・ 増益 … アジア、日本、欧州での損益改善等

### ● 四輪世界販売 … 3,224千台（前期比+10.5%）で過去最高※1

- ・ インド、欧州、日本、インドネシア等で増加

### ● 二輪世界販売 … 1,580千台（前期比+15.5%）

- ・ インド、中国、インドネシア等で増加

## 一株当り配当

### ● 年間配当74円（予想比+14円、前期比+30円）8期連続増配

- ・ 中期経営計画「SUZUKI NEXT 100」の配当性向目標15%を適用

※1. 連結決算公表(1978年3月期)以来、過去最高

※2. 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

## 次期予想

### ●通期業績 … 為替円高、研究開発費増により 増収減益見込み

- ・売上高 3兆8,000億円、前期比+ 1.1%
- ・営業利益 3,400億円、前期比▲ 9.1%  
(為替影響▲220億円、研究開発費増▲200億円)
- ・経常利益 3,500億円、前期比▲ 8.6%
- ・当期純利益※ 2,050億円、前期比▲ 5.0%

### ●四輪世界販売 … 3,299千台、前期比+75千台

- ・インド、アセアン、日本等で販売増を見込む
- ・インドは前期比+6%目標

### ●二輪世界販売 … 1,646千台、前期比+66千台

- ・インド、アセアン、日本、欧米等で販売増を見込む

### ●配当予想 … 前期（74円）を据置き

## 増収増益・各利益過去最高※

(億円)	当 期 (’17/4-’18/3)	前 期 (’16/4-’17/3)	増 減	
			増 減	増減率
売上高	37,572	31,695	+5,877	+18.5%
国内売上	11,167	10,375	+792	+7.6%
自 社	10,104	9,488	+616	+6.5%
O E M	1,063	887	+176	+19.8%
海外売上	26,405	21,320	+5,085	+23.8%
営業利益 (利益率)	3,742 (10.0%)	2,667 (8.4%)	+1,075	+40.3%
経常利益 (利益率)	3,828 (10.2%)	2,867 (9.0%)	+961	+33.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (利益率)	2,157 (5.7%)	1,600 (5.0%)	+557	+34.9%

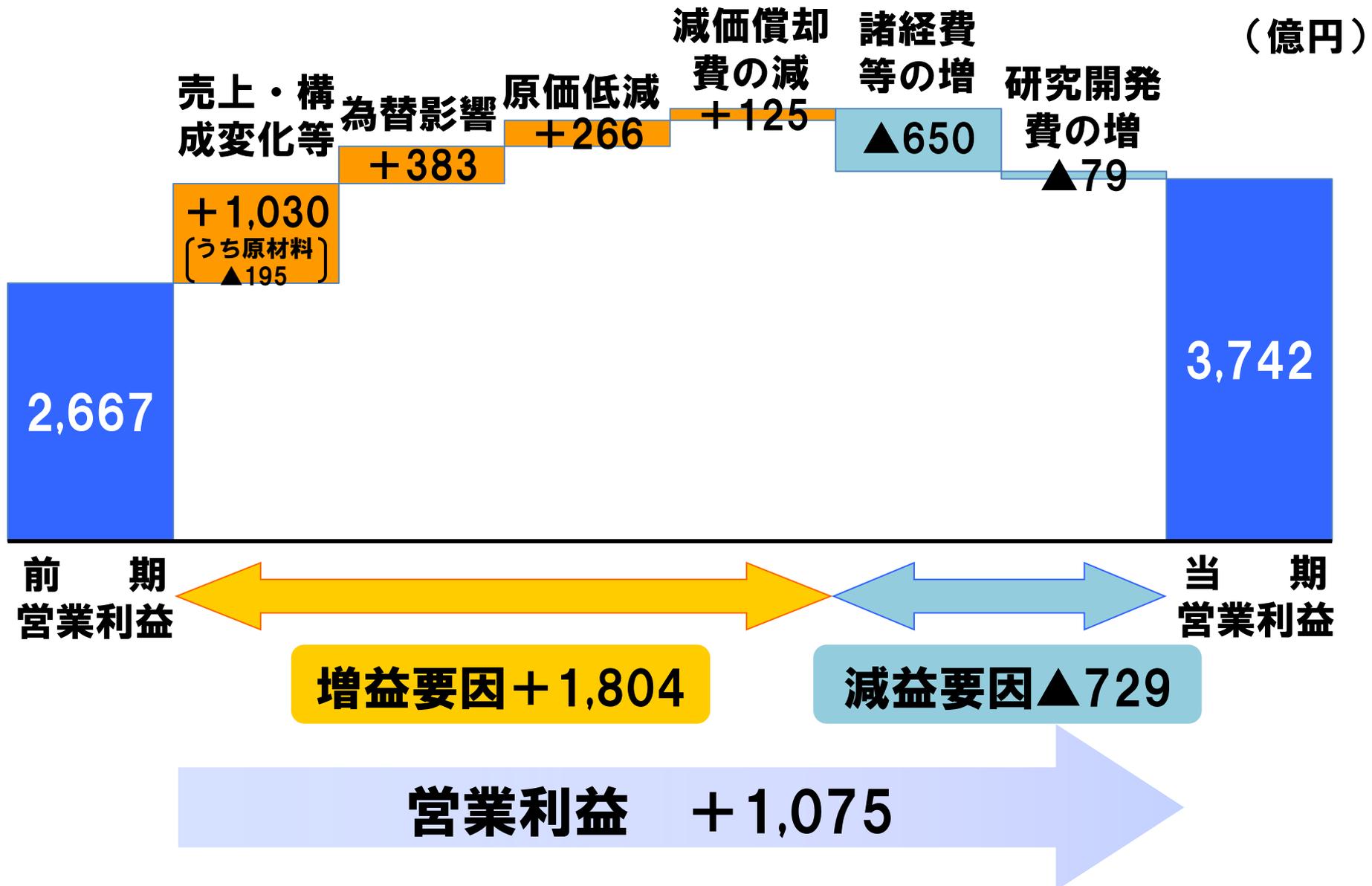
※連結決算公表(1978年3月期)以来、過去最高

## 各事業・各地域で増加、海外・連結とも過去最高※

(億円)	四輪			二輪			マリン他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	10,813	10,026	+787	208	193	+15	146	156	▲10	11,167	10,375	+792	
自 社	9,750	9,139	+611	208	193	+15	146	156	▲10	10,104	9,488	+616	
OEM	1,063	887	+176							1,063	887	+176	
海外計	23,545	18,930	+4,615	2,256	1,870	+386	604	520	+84	26,405	21,320	+5,085	+1,383
欧 州	4,495	3,742	+753	440	369	+71	171	142	+29	5,106	4,253	+853	+392
北 米	15	22	▲7	330	299	+31	280	240	+40	625	561	+64	+18
アジア	16,547	13,021	+3,526	1,127	861	+266	58	48	+10	17,732	13,930	+3,802	+836
インド	12,598	9,870	+2,728	465	316	+149	4	2	+2	13,067	10,188	+2,879	+748
"以外	3,949	3,151	+798	662	545	+117	54	46	+8	4,665	3,742	+923	+88
その他	2,488	2,145	+343	359	341	+18	95	90	+5	2,942	2,576	+366	+137
総合計	34,358	28,956	+5,402	2,464	2,063	+401	750	676	+74	37,572	31,695	+5,877	+1,383
内、為替 換算影響			+1,271			+95			+17			+1,383	

注. 当期…2017年4～2018年3月期、前期…2016年4～2017年3月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

※連結決算公表(1978年3月期)以来、過去最高



	当 期 ( '17/4-'18/3 )	前 期 ( '16/4-'17/3 )	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	111円	108円	+3円	+18億円
ユーロ	130円	119円	+11円	+150億円
インドルピー	1.73円	1.63円	+0.10円	+146億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.83円	0.82円	+0.01円	+6億円
タイバーツ	3.36円	3.08円	+0.28円	▲18億円
その他	—	—	—	+81億円 ※
計				+383億円

※メキシコペソ+18億円、ポンド+16億円、ポーランドズロチ+13億円、豪ドル+13億円、他

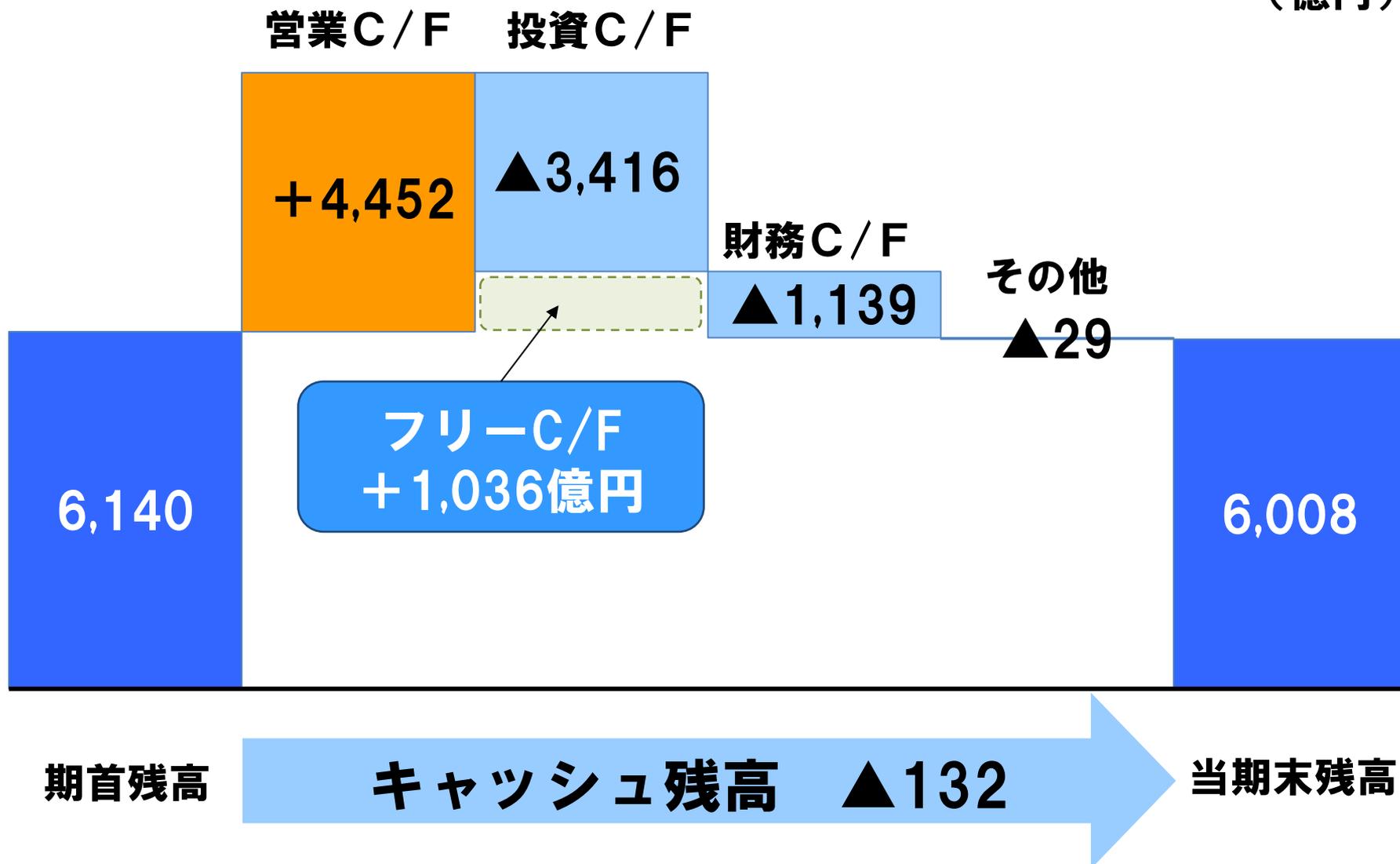
# 連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

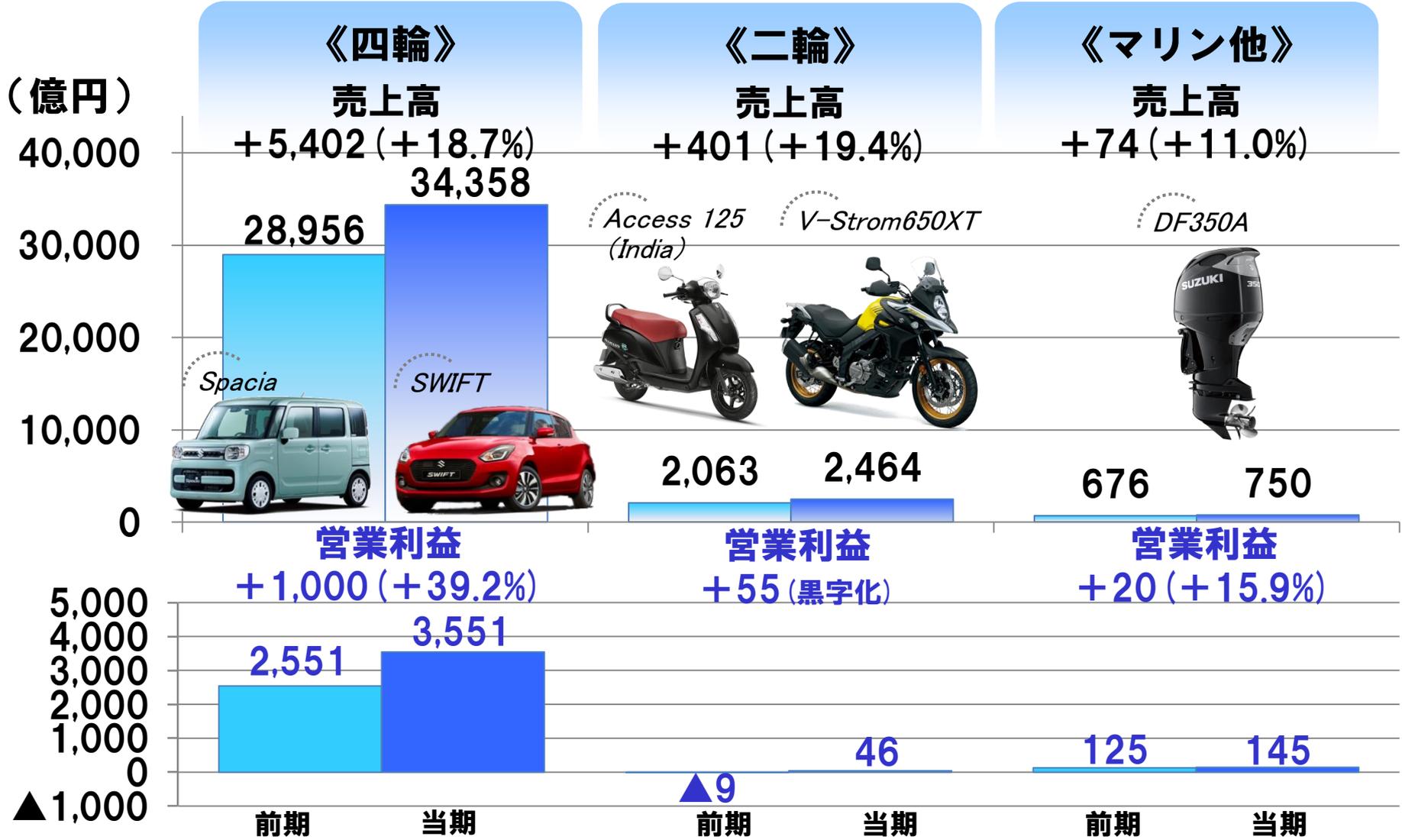
	当 期 ( '17/4-'18/3 )	前 期 ( '16/4-'17/3 )	増 減
(当社単独)	536	672	▲136
(子会社)	1,598	1,316	+282
設備投資	2,134	1,988	+146
減価償却費	1,509	1,634	▲125
研究開発費	1,394	1,315	+79

	当期末	前期末		当第3四半期末	
	( '18/3末 )	( '17/3末 )	増 減	( '17/12末 )	増 減
有利子負債残高	5,779	6,399	▲620	6,561	▲782

(億円)

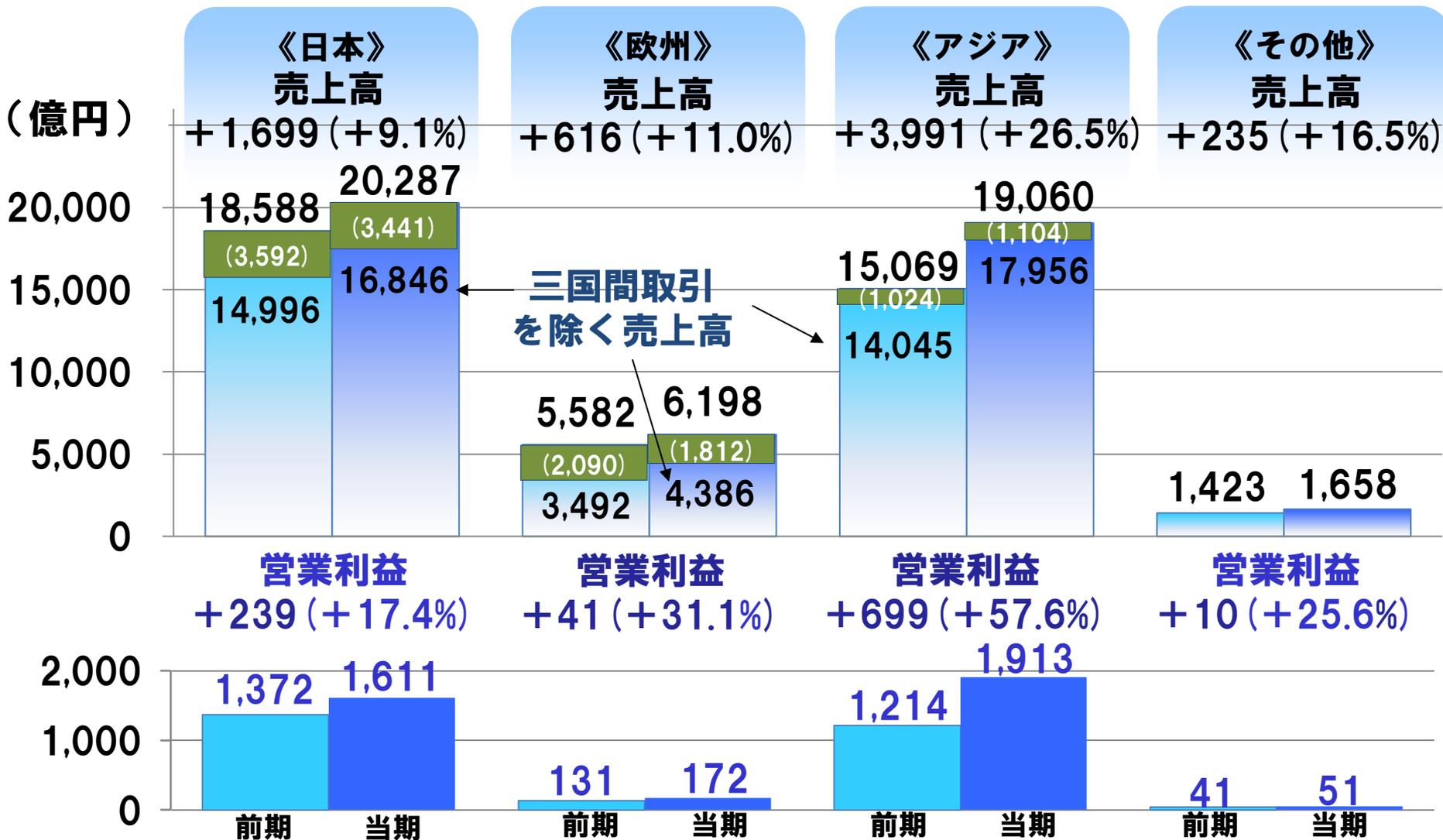


# 連結：事業別業績 (売上高・営業利益)



※当期・・・2017年4月～2018年3月期、前期・・・2016年4月～2017年3月期

# 連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



注. 三国間取引について

※当期・・・2017年4月～2018年3月期、前期・・・2016年4月～2017年3月期

従来、ハンガリー生産車の欧州域内への子会社向け売上高は、域内子会社間取引として消去されていましたが、取引形態を日本経由の三国間取引に変更したため、日本向け売上高及び日本から欧州への売上高が消去されず、日本・欧州ともに売上高がその分、多く表示されています。アジアについても同様な取引があります。

	当期末	前期末		当第3四半期末	
	('18/3末)	('17/3末)	増減	('17/12末)	増減
連結 子会社数	131社	136社	▲5社	131社	±0社
持分法適用 関連会社数	31社	32社	▲1社	31社	±0社
従業員数	65,179人	62,992人	+2,187人	64,817人	+362人

## 為替円高、研究開発費増等により増収減益

（億円）

	通期予想		
	次期予想	当期実績	増減
売上高	38,000	37,572	+428
営業利益 （利益率）	3,400 (8.9%)	3,742 (10.0%)	▲342
経常利益 （利益率）	3,500 (9.2%)	3,828 (10.2%)	▲328
当期純利益※ （利益率）	2,050 (5.4%)	2,157 (5.7%)	▲107

	通期予想		
	次期予想	当期実績	増減
設備投資	2,500	2,134	+366
減価償却費	1,500	1,509	▲9
研究開発費	1,600	1,394	+206

※親会社株主に帰属する当期純利益

### 《営業利益 増減要因》

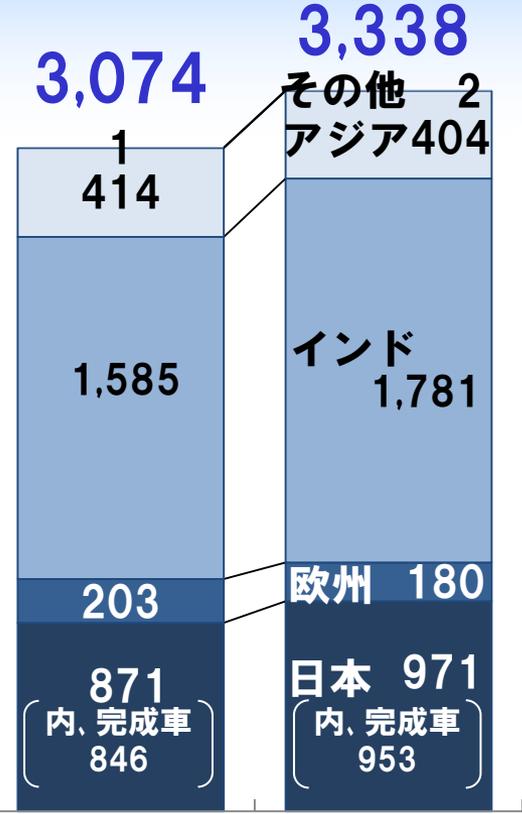
増減要因	
為替影響	▲220
研究開発費の増	▲200
諸経費等の増	▲200
売上・構成変化等	▲2
原価低減	+280
合計	▲342

### 《為替レート・為替影響》

増減要因	通期予想			営業利益 為替影響
	次期予想	当期実績	増減	
米ドル	105円	111円	▲6円	▲37
ユーロ	130円	130円	±0円	+5
インドルピー	1.65円	1.73円	▲0.08円	▲119
インドネシア※	0.78円	0.83円	▲0.05円	▲22
タイバーツ	3.30円	3.36円	▲0.06円	+3
※インドネシアは 100ルピア当り	その他通貨			▲50
	為替影響額 計			▲220

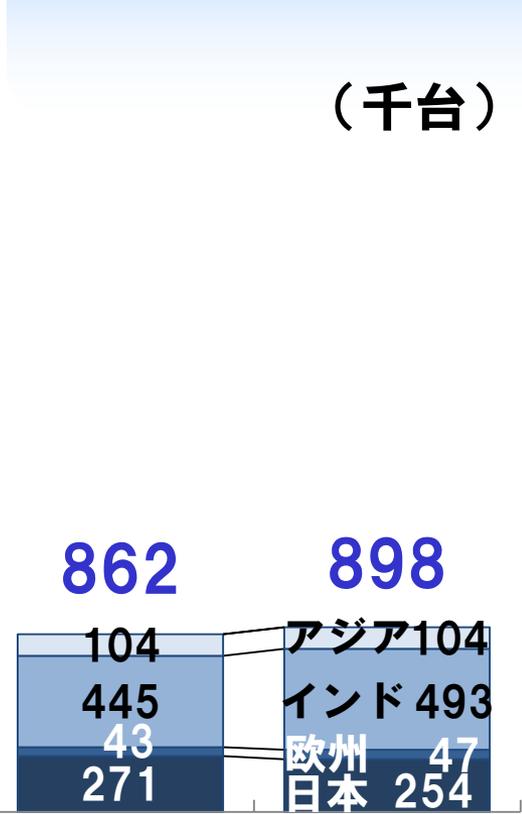
## 世界生産は3,338千台で過去最高を更新

《4～3月比較》  
+264千台 (+8.6%)



前期 '16/4-'17/3 当期 '17/4-'18/3

《内、1～3月比較》  
+36千台 (+4.2%)

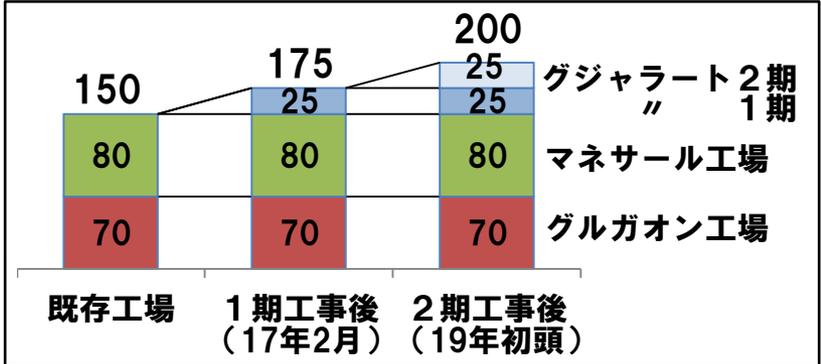


前年同期 '17/1-3 当第4四半期 '18/1-3

### ●当期（4～3月）の世界生産

- ・ 3,338千台（前期比+8.6%）で過去最高を更新
- ・ インド（同+12.4%）、日本（同+11.5%）、インドネシア（同+8.1%）で増加
- ・ 一方、中国（同▲33.7%）、欧州（同▲11.4%）等で減少
- ・ グジャラート工場は4月より輸出も開始

### インド四輪生産能力（2勤定時、万台）



## 世界販売は3,224千台で過去最高を更新

《4～3月比較》

+306千台 (+10.5%)

3,224

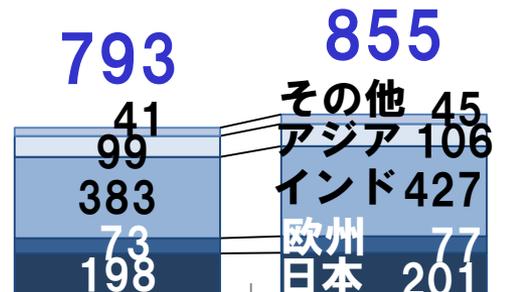


前年 16/4-17/3 当期 17/4-18/3

《内、1～3月比較》

+62千台 (+7.8%)

(千台)



前年同期 17/1-3 当第4四半期 18/1-3

### ●当期（4～3月）の世界販売

- ・3,224千台（前期比+10.5%）で、初めて300万台を超え、過去最高を更新
- ・インドネシア（同+23.9%）、欧州（同+14.9%）、インド（同+14.5%）、タイ（同+11.9%）、日本（同+4.6%）等で増加
- ・一方、中国（同▲28.8%）等で減少

## 軽自動車、登録車ともに前年を上回る

《4～3月比較》

+29千台（+4.6%）



《内、1～3月比較》

+2千台（+1.2%）

（千台）



### ●当期（4～3月）の国内販売

- 軽自動車は「スペーシア」全面改良等により、前期比+4.5%と増加



- 登録車は「ソリオ」、「スイフト」の好調に加え、「クロスビー」投入もあり、前期比+5.0%と増加
- 2年連続で10万台を超え、11万台を販売



### ●トピックス

- スーパーキャリイ、近日発売

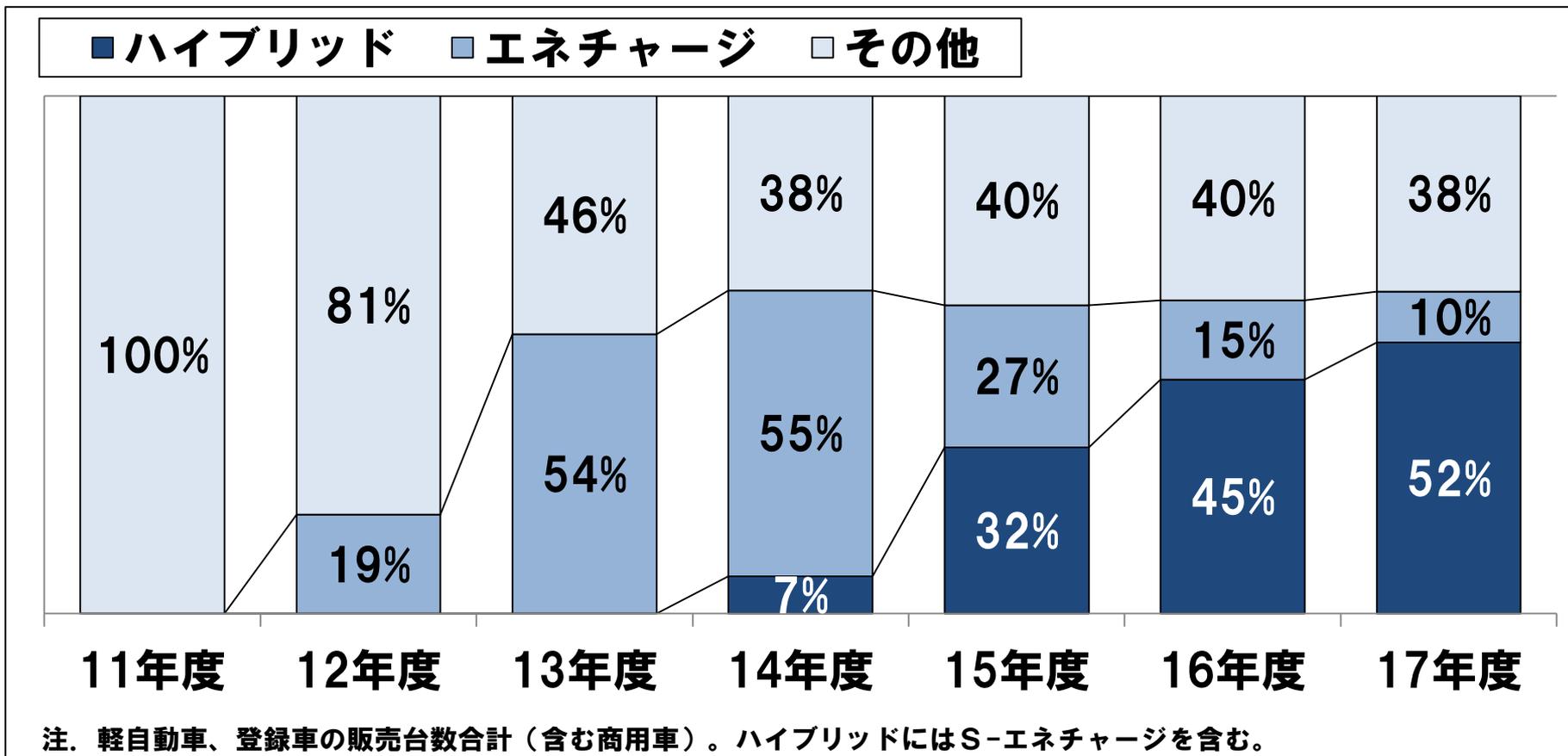


前期 '16/4-'17/3      当期 '17/4-'18/3

前年同期 '17/1-3      当第4四半期 '18/1-3

## 日本ではハイブリッド車が過半数

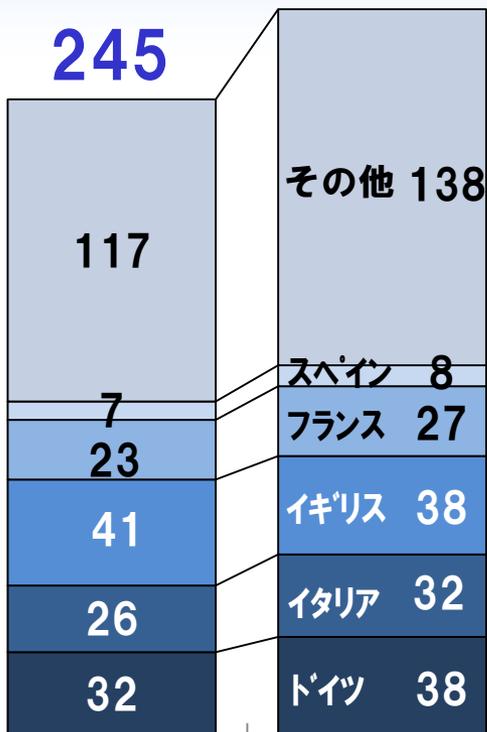
- 日本では、エネチャージ\*からハイブリッド車への移行が進み、17年度のハイブリッド車比率は52%まで拡大



\*エネチャージ … ブレーキ回生によるバッテリー充電を行うことで、エンジン発電負担を軽減し燃費を向上する技術

## 新型車の貢献により前年を上回る

《4～3月比較》  
+36千台（+14.9%）  
**281**



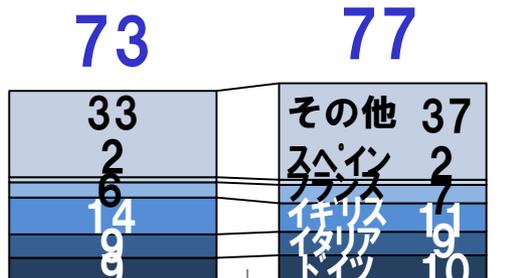
前期

当期

'16/4-'17/3

'17/4-'18/3

《内、1～3月比較》  
+4千台（+5.3%）  
（千台）



前年同期

当第4四半期

'17/1-3

'18/1-3

### ●当期（4～3月）の欧州販売

- ・欧州全体では「スイフト」、「SX4 S-CROSS」、「イグニス」など新型車の貢献により、前期比+14.9%と増加

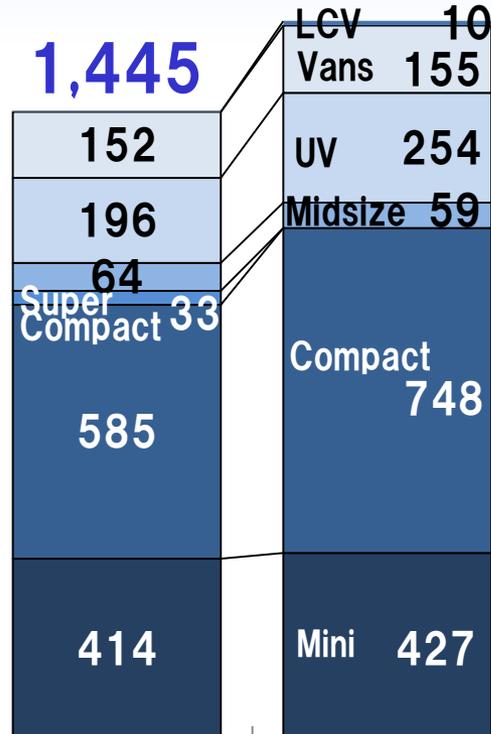


## インドの販売台数は過去最高を更新

《4～3月比較》

+209千台（+14.5%）

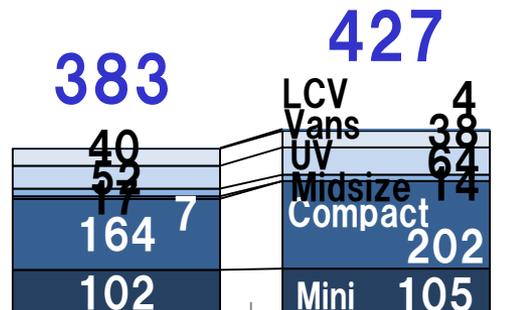
1,654



《内、1～3月比較》

+44千台（+11.6%）

（千台）



### ●当期（4～3月）のインド販売

- ・「バレーノ」、「ビターラ・ブレッツァ」、「ディザイア」の好調に加え、新型「スイフト」投入もあり、当期累計は1,654千台となり過去最高を更新

### ●トピックス

- ・2月「スイフト」を全面改良



前期

当期

前年同期

当第4四半期

'16/4-'17/3

'17/4-'18/3

'17/1-3

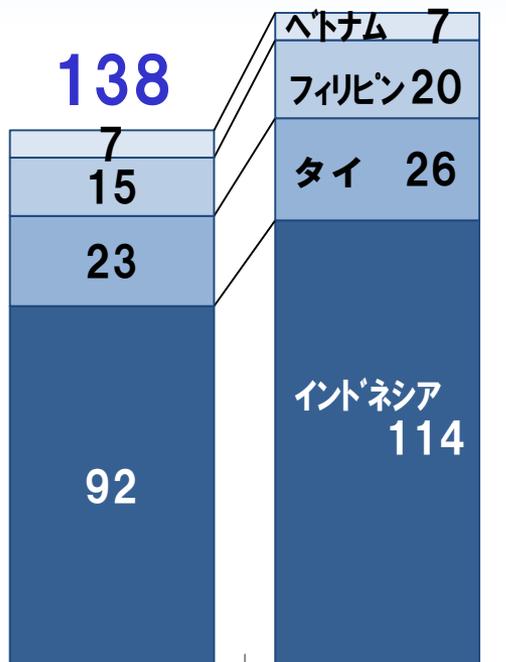
'18/1-3

※LCV=Light Commercial Vehicles, UV=Utilities Vehicles

## インドネシアが牽引し前年を上回る

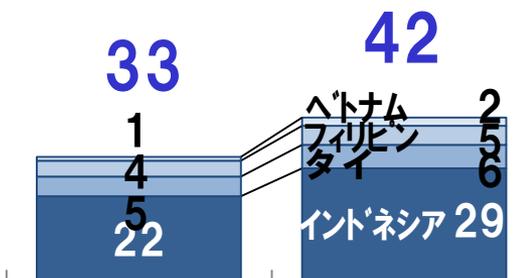
《4～3月比較》  
+29千台（+21.3%）

167



《内、1～3月比較》  
+9千台（+28.6%）

（千台）



### ●当期（4～3月）のアセアン

- ・アセアン4カ国※1合計で167千台（前期比+21.3%）
- ・インドネシアは商用車の復調に加え、インドから導入した「イグニス」「バレーノ」の貢献もあり、前期比+23.9%と増加
- ・タイは「シアズ」の好調に加え、2月には「スイフト」全面改良もあり、前期比+11.9%と増加



前期

当期

前年同期

当第4四半期

’16/4-’17/3 ’17/4-’18/3

’17/1-3

’18/1-3

※アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム 4ヶ国合計

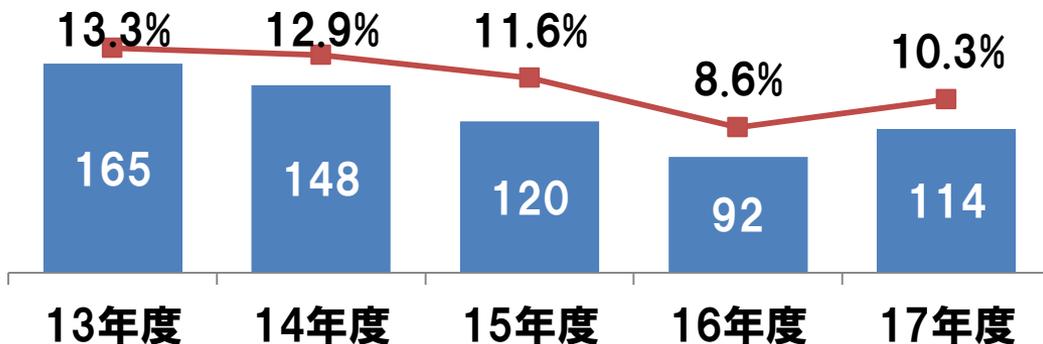
## 本年4月、インドネシアで3列シート 7人乗り乗用車「エルティガ」全面改良を発表

- 「エルティガ」は2012年よりインドネシアとインドで生産・販売
- 両国内での販売・輸出を通じて、世界70以上の国・地域で、累計68万台を販売（2018年2月末現在）
- インドでも新型「エルティガ」を生産、両国より順次輸出も開始予定

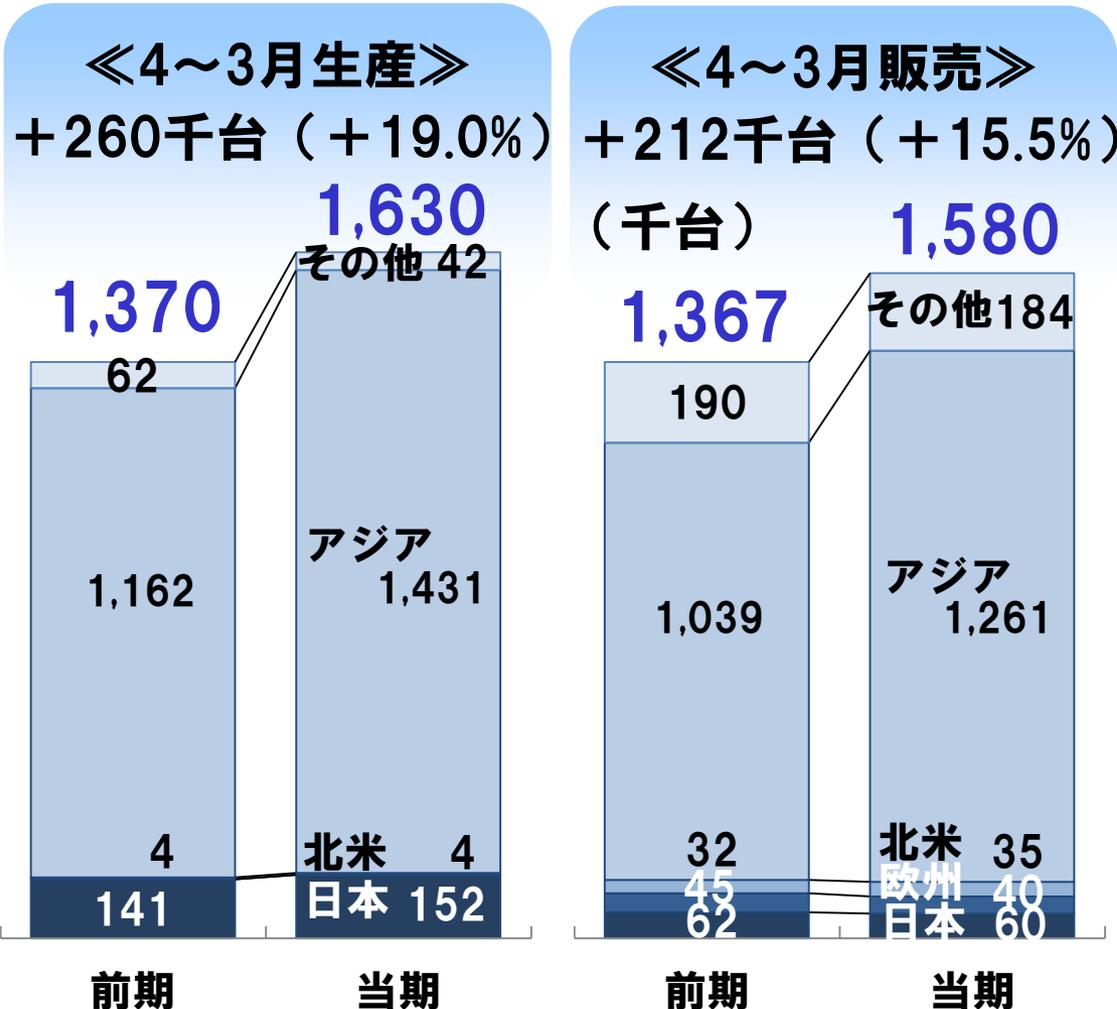
### エルティガの主な特長

- ・「スタイリッシュでエレガントな7人乗り」をコンセプトに開発
- ・新プラットフォーム「HEARTECT（ハーテクト）」採用
- ・全長を130mm延長したことで、広い室内空間と荷室スペースを実現
- ・新開発1.5Lガソリンエンジンを搭載

インドネシア国内末端販売とシェア（千台）



## 生産・販売ともに前期を大幅に上回る



### ●当期（4~3月）の二輪車

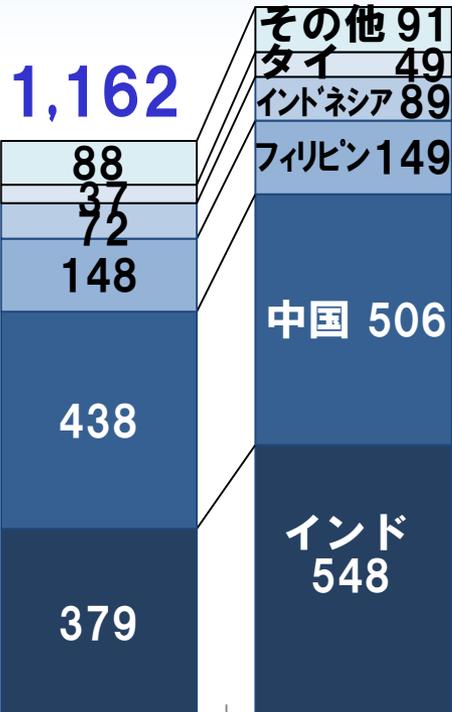
- ・インド（前期比+43.0%）、
  - ・インドネシア（同+31.2%）、
  - ・北米（同+10.6%）、
  - ・中国（同+9.3%）
- などでの販売増加により、  
生産+260千台（同+19.0%）、  
販売+212千台（同+15.5%）  
と前期を大幅に上回る

※当期・・・2017年4月～2018年3月期、前期・・・2016年4月～2017年3月期

## インド、中国、インドネシア等で増加

《4~3月生産》  
+269千台 (+23.2%)

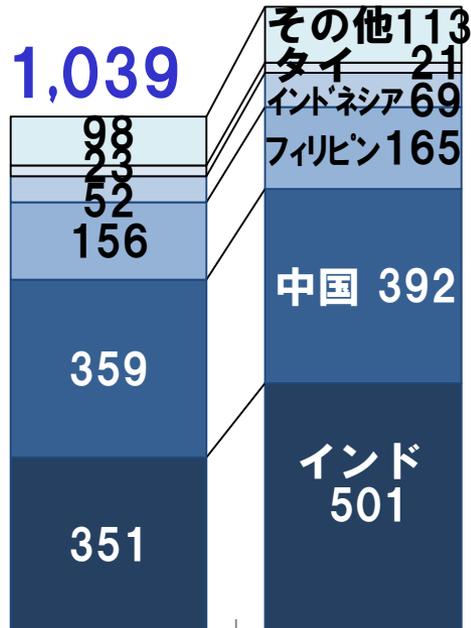
1,431



《4~3月販売》  
+222千台 (+21.3%)

(千台)

1,261



### ●当期（4~3月）のアジア販売

- ・アジアの販売は、インド、中国、インドネシア等で増加し、1,261千台（前期比+21.3%）
- ・インドは「アクセス」の好調に加え11月にはモダンクルーザー「イントルーダー」投入もあり、拡大が続く（同+43.0%）

### ●トピックス

- ・インドAuto Expo 2018に「バーグマン・ストリート」を出展



前期

当期

前期

当期

※当期・・・2017年4月～2018年3月期、前期・・・2016年4月～2017年3月期

## 四輪車、二輪車ともに販売拡大を目指す

(千台)	通期生産台数				通期販売台数			
	予想 (18年度)	前期実績			予想 (18年度)	前期実績		
		(17年度)	増減	増減率		(17年度)	増減	増減率
<b>&lt;四輪車&gt;</b>								
日本	981	971	+10	+1.0%	675	668	+7	+1.0%
欧州	173	180	▲7	▲4.0%	280	281	▲1	▲0.4%
アジア	2,257	2,185	+72	+3.3%	2,157	2,093	+64	+3.0%
その他	2	2	▲0	▲12.5%	187	182	+5	+3.0%
合計	3,413	3,338	+75	+2.2%	3,299	3,224	+75	+2.3%
<b>&lt;二輪車&gt;</b>								
日本	135	152	▲17	▲11.3%	64	60	+4	+7.6%
欧州	—	—	—	—	50	40	+10	+25.1%
北米	4	4	▲0	▲6.6%	40	35	+5	+13.5%
アジア	1,496	1,431	+65	+4.5%	1,317	1,261	+56	+4.5%
その他	50	42	+8	+19.2%	175	184	▲9	▲5.0%
合計	1,685	1,630	+55	+3.4%	1,646	1,580	+66	+4.2%

## 増収増益

(億円)

	当 期 (’17/4-’18/3)	前 期 (’16/4-’17/3)	増 減	
			増 減	増減率
売上高	18,528	16,878	+1,650	+9.8%
国内	9,409	8,665	+744	+8.6%
輸出	9,119	8,213	+906	+11.0%
一 般	5,678	4,621	+1,057	+22.9%
三国間	3,441	3,592	▲151	▲4.2%
営業利益 (利益率)	1,247 (6.7%)	1,064 (6.3%)	+183	+17.2%
経常利益 (利益率)	1,371 (7.4%)	1,202 (7.1%)	+169	+14.1%
当期純利益 (利益率)	1,048 (5.7%)	877 (5.2%)	+171	+19.6%

当期配当…通期74円/株（期末44円）、予想比+14円、前期比+30円

- 当期の年間配当は8期連続増配となる74円（配当性向15.1%）
- 次期予想は据置き

	前期実績	当期予定	次期予想
一株当り年間配当金	44円	74円	74円
配当性向	12.1%	15.1%	15.9%
（投資有価証券売却益を除く配当性向）	(15.2%)		



# 2018年3月期 決算説明会



# スズキ株式会社

## 将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。